

野洲川歴史公園サッカー場人工芝張替等改修工事に係る発注者の要求事項

1 工事概要

- (1) 実施設計 一式
- (2) Aコート人工芝撤去運搬処分 一式
- (3) Aコート人工芝敷設 一式
- (4) AコートのJFA公認ロングパイル人工芝ピッチの公認手続き 一式
- (5) Aコートライン設置 一式
- (6) Cコート観客席スペース整備および観客席設置 一式
- (7) その他、「わたSHIGA輝く国スポ・障スポ2025」の開催にあたり、施設の環境整備を図るため、総工事価格の範囲内で応募者からの積極的な追加提案を求める。

2 要求事項

(1) 目的物に関する事項

ア 総工事価格

120,000,000円以内（消費税および地方消費税を含む。）

イ 施工場所

守山市服部町地先

ウ 施工範囲

Aコート10,046㎡（うち人工芝敷設面積8,778㎡）

Cコート10,156㎡（うち法面スタンド540㎡の一部）

その他、施設の環境整備を図るために応募者が提案する施工場所（ただし、各コートの施設利用に支障がない範囲に限る。）

エ 施工数量

- (ア) Aコートの人工芝1面（8,778㎡）を張り替えること。（下地の部分補修含む。）
ただし、使用する人工芝はJFAロングパイル人工芝の製品検査完了製品とし、別紙に定める仕様を満たすこと。
- (イ) Aコートの既設人工芝については、別紙に定める数量を再利用し、残りの人工芝を産業廃棄物として適切に運搬処分すること。
- (ウ) サッカー競技用ライン：105m×68m、白色、1面を設置すること。
- (エ) 8人制サッカー競技用ライン：68m×50m、黄色、2面（サッカー競技フィールド内）を設置すること。
- (オ) フットサル競技用ライン：40m×20m、青色、4面（サッカー競技フィールド内）を設置すること。
- (カ) Cコートの法面スタンド（540㎡）の箇所に観客席スペースを整備し、そのうち常設観客席を200席程度設置すること。（身障者用観覧スペースの設置にも配慮すること。）
また、国スポ大会時に仮設観客席を設置できるスペースを整備し、センターライン付近はTSGを設けるのに支障がないよう配慮すること。
- (キ) その他、応募者の提案に基づき施設整備工事を施工すること。

オ 配慮事項

- (ア) 当該施設は、主にサッカー競技に利用されているが、他競技の利用にも配慮した人工芝を提案すること。
- (イ) 供用後に緊急的な補修等が発生した場合、迅速に対応できる体制が整っている人工芝を提案すること。
- (ウ) 人工芝の充填材の流出を抑制し、回収することを目的とした流出防止対策を行うこと。
- (エ) 人工芝やゴムチップを原因とするマイクロプラスチック問題に配慮すること。
- (オ) 令和7年度に「わたSHIGA輝く国スポ・障スポ2025」を開催するにあたり、競技会場として適切に競技運営が行え、かつ選手が快適に競技でき、また、その他観客等利用者の利便性にも配慮した良質な環境整備を行うために、積極的な提案をすること。

【参考】当該施設の課題

音響設備のノイズ対応、更衣室空調設備の老朽化、駐車場区画線の剥離、常設得点板の設置、施設への防犯対策、Aコートにおけるボールのコート外への飛び出し対策、Bコートの照明のLED化等

(2) 施工に関する事項

ア 完成年月日

令和6年3月15日（金）まで

ただし、施設利用の都合上、Aコート内の施工は令和6年1月15日から2月29日まで、Cコート内の施工は令和6年1月4日から1月31日までとする。

イ 施工計画

計画工程表、施工方法等については、任意様式（A3またはA4用紙）により別途提出すること。

ウ 建設副産物

現場から発生する建設副産物については、適正に処分すること。

エ 安全管理

工事期間中においてもその他施設を供用しているため、施設利用者の安全を優先し、通行等に配慮するなど、安全管理を徹底すること。

3 提案を求める事項

(1) 目的物の構造形式

上記「2 要求事項」を満たした上で、レイアウト等の目的物の構造形式を示し、利用方法について解説すること。

(2) デザイン

提案した目的物が容易にイメージできる概要図（完成予想図）を作成すること。

(3) 維持管理

維持管理費の低減を図れるように、使用材料等を検討、提案し、点検等の維持管理手法を示すとともに、設置後10年間の消耗品の交換に要する費用等の経費を試算すること。

4 施工条件

(1) 搬入路

ア 搬入路は、野洲川歴史公園サッカー場内の園路を通りサッカー場に搬入する。(防球ネットや金網フェンスを一時的に取り外す必要がある場合がある。)

イ 野洲川歴史公園サッカー場は供用中の施設であり、資材の搬入等については、園路の安全確保や敷鉄板等の養生など仮設設備が必要となる場合がある。

(2) 施工時間帯

ア 原則として、午前8時30分から午後5時までとする。

イ 市が認める場合は、上記の限りではない。

(3) 共通仕様

ア 工事の施工については、各々最新の「一般土木工事等工事必携」および「一般土木工事等共通仕様書」、「屋外体育施設の建設指針」によるものとする。

イ 工程管理、出来形管理および品質管理は、「土木工事施工管理基準及び規格値(案)」により実施すること。

ウ 工事写真は、「土木工事施工管理基準及び規格値(案)」により、各工事の施工段階および工事完成後に明視出来ない箇所の施工状況、出来形寸法、品質管理状況等を撮影し、整理すること。

エ 工事請負契約の締結後、「わたSHIGA輝く国スポ守山市開催競技会場等設計業務」の請負業者と打ち合わせのうえ、詳細設計を完了し、その中身について発注者の確認を得た上で現場施工にとりかかること。

(4) その他

下記の「5 参考資料」で判断できない施工場所の条件については、応募者が必要に応じて調査すること。

5 参考資料

(1) 位置図

(2) 野洲川歴史公園サッカー場平面図

(3) 施工箇所現況写真

(4) 野洲川歴史公園サッカー場既設計画面

ア 計画平面図

イ 各サッカー場詳細平面図

ウ 各サッカー場フェンス工配置計画平面図

エ 各工事標準図・構造図

オ 散水設備計画図

カ 暗渠排水計画図

キ ピッチマーキング配置図

ク 照明設備配置、配線図

ケ クラブハウス平面図、立面図

コ 駐車場詳細平面図

※過去の資料であり、現場状況と一致していない可能性があるため注意すること。

(別紙)

1 人工芝等の仕様

人工芝を構成する使用材料等の仕様は以下のとおりとする。

項目	仕様
種類	ロングパイル人工芝
色	緑系濃淡2色
材質	温度上昇抑制機能付きポリエチレン製(同等以上)
製法(形状)	モノフィラメントヤーン
長さ(芝丈)	55mm以上
織度	13,500dtex以上
厚み	400 μ m以上とする。 ただし、特殊捲縮加工モノフィラメントは、280 μ m以上とする。 ※中軸仕様等の一部のみが厚いパイルは除く
充填材	細粒黒ゴムチップおよび特殊粒度調整珪砂

※上記仕様と同等もしくは同等以上とする。

2 人工芝等の条件

- (1) 日本サッカー協会(JFA)ロングパイル人工芝検査実施マニュアルによる製品検査を完了しており、入札公告発表時点で製品検査完了証の交付を受けた製品を使用すること。
- (2) 品質保持の観点より、国内ロングパイル人工芝の施工実績を100万 m^2 以上有するメーカーの製品とすること。(施工実績の一覧表を添付すること。)
- (3) 環境保護の観点から人工芝の充填材の流出抑制に配慮すること。
- (4) 夏季の熱中症対策として、人工芝の表面温度を低減できる仕様にする。
- (5) JFAロングパイル人工芝ピッチ公認の取得について、公認料およびフィールドテスト費用は本工事費に含むものとする。

また、施工期間中にJFA規格に基づくフィールドテスト(下地検査、人工芝敷設後の検査)をJFA指定検査機関に依頼して実施すること。

3 既設人工芝の再利用について

Aコート既設人工芝のうちの一部を下記のとおり再利用する。

- (1) 守山市民運動公園ソフトボール場に敷設 482 m^2 (内100 m^2 分は場内仮置き)
守山市民運動公園ソフトボール場内の指定場所(1、3塁側の碎石舗装箇所)に、整地および転圧を行った上で敷設すること。
- (2) 野洲川歴史公園サッカー場に仮置き 1,321 m^2
発注者の指示するサイズに切り分け(1m \times 1m \sim 4m(1m単位))、野洲川歴史公園サッカー場内の指定場所に仮置きすること。(守山市および野洲市の公共施設にて再利用する。なお、運搬設置は、各施設管理者が行う。)